



題名:あなたの夢を叶えます! ~自由な職業選択を可能にする教育~

発表者氏名:荒井遥 石黒碧衣 高橋真由



背景・目的

私達は将来教員を目指している。児童、生徒たちのジェンダーバイアスに囚われない自由な職業選択を後押しするためには何が必要か探りたいと考えた。また、ジェンダーバイアスによって本当に就きたい職業に就けない人がいることは社会的に問題ではないかと考えた。

結果

・大変だったこと:体力や筋力の差を感じる。

勤務地によって施設が対応なし。

・働く上で、女性/男性ならではの強みは 沢山ある。

すでに分かっていること

- ・世の中にはジェンダーバイアスの影響を受けている職業がある
- ・性別ごとに法律で禁止されている職業がある

結論

- ・体力の差、向き不向き等により固定概念を持ってしまう。
- ・女性/男性であるから向いている場面も多くある。

仮説 ジェンダーバイアスにとらわれて、自分が本当に就きたい職業に就けない人がいるのではないか。

研究の方法

(i)職業イメージに関するアンケート(前期研究より)

- 1 男女で就業人数に差がある職業はあるか?
- 2 具体的な職業名(複数回答可)
- 3 男女の就業者数差の理由はなぜだと思うか
- 4 偏りを感じた場面や経験はあるか



9割以上の方が就業者数に差を感じている
特に 大工、看護、医師、保育 に関して。

→多くの方が特定の職業に対してジェンダーバイアスを持っており、現代の日本社会はすべての人が性別に関わらず自由な職業選択ができる環境にある とは言えない。

それを踏まえて、

(ii)固定観念をもたれやすい職業についている方へのインタビュー

- 内容
- 1 きっかけと周囲の人の影響の有無
 - 2 いつ
 - 3 その職業に就いた後大変だと思ったこと
 - 4 男性/女性で良かったこと

考察

職業によって就業者数の男女比に差があるのは、早急に是正すべき問題ではないのではないかと。ただ、児童、生徒たちの職業選択の幅を広げるために、性別に関わらず私達は多様な職業につけることや実際に私達がジェンダーバイアスを持ってしまっている業種でも女性/男性の方々が活躍されていることを伝えることが求められる。

今後の展望

- ・実際に近隣の小学校ではジェンダーバイアスに関してどのような教育活動をしているのかインタビューし、参考にする
- ・生徒たちの職業の幅を広げるための方法を考える

(例)

- ・必要のないところではジェンダーバイアスとなる発言をしない
- ・各職業の男女比の均衡をはかるためにむやみに特定の職業に誘導したり、職業と性別を結びつける指導をしない

参考文献

https://www.mhlw.go.jp/general/seido/koyou/danjokintou/dl/danjyokoyou_s.pdf
(厚生労働省 労働基準法のあらまし)

<https://www.city.sakata.lg.jp/bousai/syobokuyuku/syobooshirase/syoubouyosei.html#:~:text=%E9%85%92%E7%94%B0%E5%9C%B0%E5%8C%BA%E5%88%9D%E3%81%AE%E5%A5%B3%E6%80%A7,%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E6%8E%A1%E7%94%A8%EF%BC%89%E3%81%B8%E3%81%AE%E3%82%A4%E3%83%B3%E3%82%BF%E3%83%93%E3%83%A5%E3%83%BC>(酒田市HP)